

東京都長期ビジョン

～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～

平成26（2014）年12月

東京都

東京都長期ビジョン ～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～ 中間報告から最終報告までの流れ

《9月12日》

中間報告 発表

パブリックコメント募集

《12月25日》

最終報告
「東京都長期
ビジョン」
発表

中間報告

【東京の将来像】

「世界一の都市・東京」

【東京の姿】

- * 2020年大会の開催時
- * 概ね10年後 の姿を提示

【政策目標】

可能な限り数値化した
約230の政策目標
を提示

最終報告(長期ビジョン策定)

中間報告で示したものに以下を追加

【課題解決、政策目標の 実現に向けた工程表】

- * ビジョンを推進するための
具体的な政策展開
- * 3か年の実施計画

【レガシー】

オリンピック・パラリン
ピックのレガシーの
基本的な方向性

【重要課題にかかる政策目標】

タスクフォースでの検討事項等を追加
合計 約360の政策目標

東京都長期ビジョン 説明のポイント

1 福祉サービスの充実

- * 子供たちが健やかに成長できる社会の実現
- * 高齢者の多様なすまいの確保
- * 福祉人材の確保・育成・定着

2 経済対策の強化、グローバル都市の創造

- * 経済対策の強化
- * 正規雇用の促進
- * 国際社会で活躍できる人材の育成

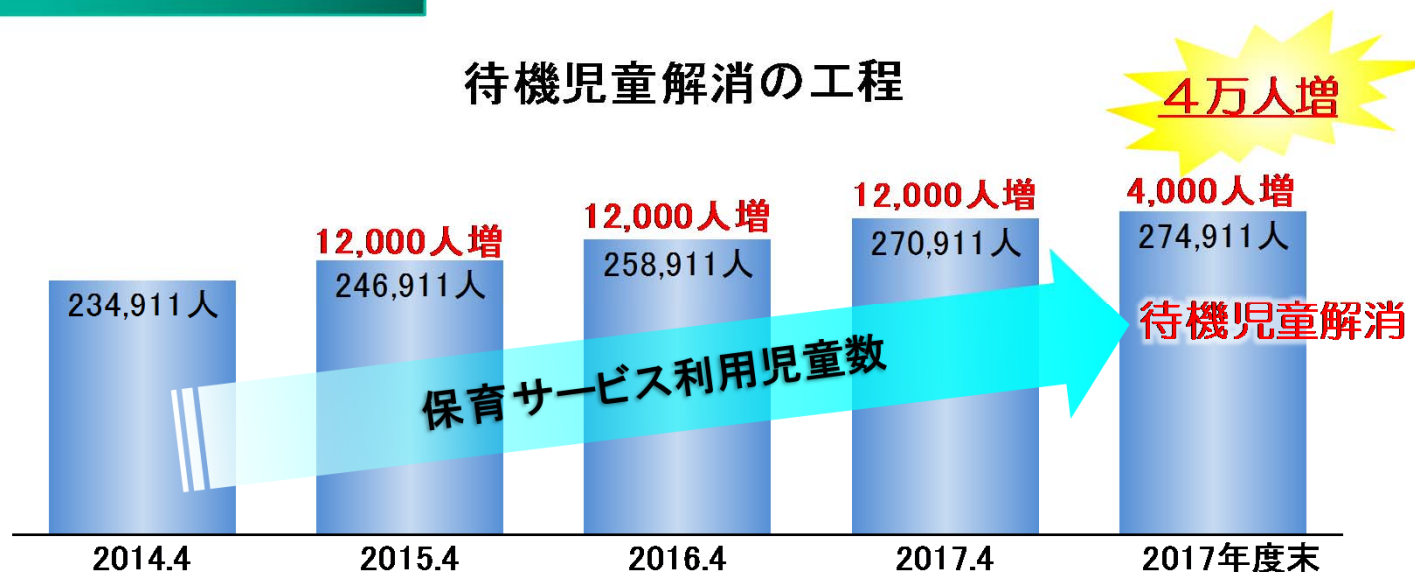
3 史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現

- * 競技会場整備や危機管理体制構築等、開催準備
- * 来訪者へのおもてなしの準備
- * 2020年大会開催を起爆剤とした水素社会の実現

～ 子供たちが健やかに成長できる社会の実現 ～

保育サービスの量的拡大

待機児童解消の工程



小学生の放課後等の居場所の確保

- **2019年度末までに学童クラブのいわゆる待機児童を解消**
(2014年5月のいわゆる待機児童：1,717人)

【登録児童数】

2014年5月
89,327人

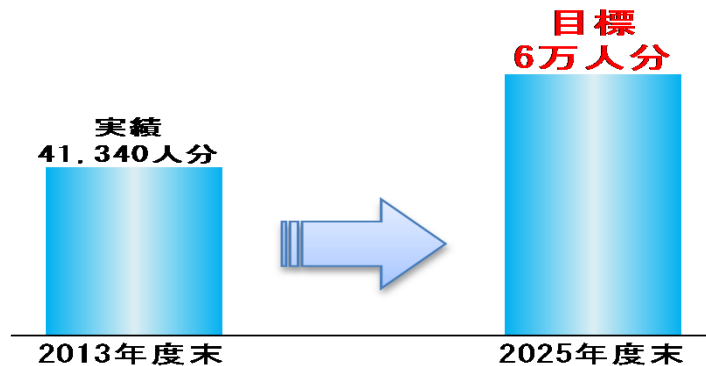
1万2千人増

2019年度末
約10万2千人

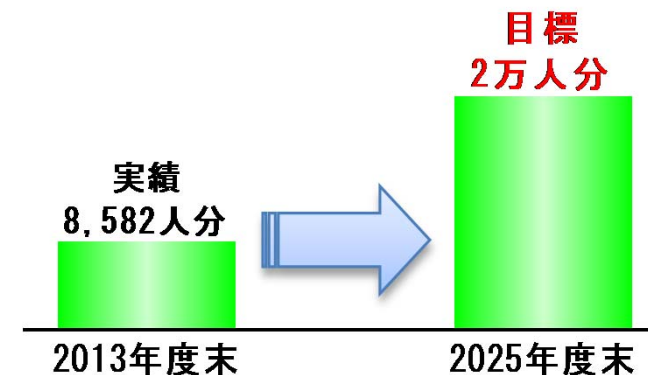
- 2019年度末までに放課後子供教室を全小学校区に設置

～ 高齢者の多様なすまいの確保 ～

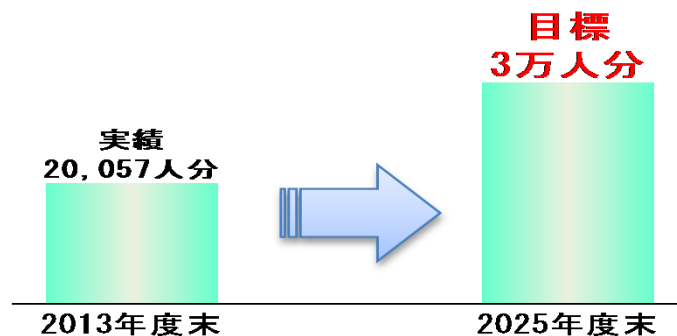
- 特別養護老人ホームの定員を拡大
 - ・ 41,340人（2013年度末）
 - ⇒ 6万人分（2025年度末）



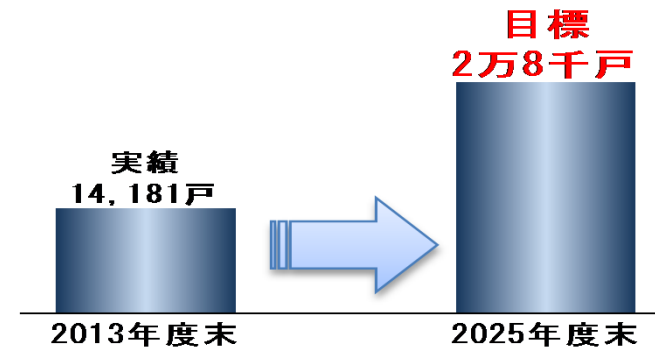
- 認知症高齢者グループホームの定員を拡大
 - ・ 8,582人（2013年度末）
 - ⇒ 2万人分（2025年度末）



- 介護老人保健施設の定員を拡大
 - ・ 20,057人（2013年度末）
 - ⇒ 3万人分（2025年度末）



- サービス付き高齢者向け住宅等を整備
 - ・ 14,181戸（2013年度末）
 - ⇒ 2万8千戸（2025年度末）



～ 福祉人材の確保・育成・定着 ～

キャリアパスの導入支援

- 保育士や介護人材の職責に応じた処遇を実現するキャリアパス導入に取り組む事業者を支援

*保育士：2017年度までに、都内で約2万8千人が必要（見込み）

*介護人材：都内の有効求人倍率が他と比較して高い
(2013年度 介護:3.29倍、全産業:1.20倍)

新たな人材バンクの構築

- 保育士、介護福祉士、社会福祉士等の福祉人材に関する情報を一元的に管理する「人材バンクシステム（仮称）」を構築

〔システム運用開始：2017年度〕

求職者や離職者等に対して、求人情報を効果的・積極的に
発信する等の働き掛けを実施

保育士や介護人材の確保・育成・定着

～ 経済対策の強化 ～

国際ビジネス環境の創出

➤ 経済の血液である金融分野で、東京が国際的な金融センターの地位へと復活

- * ビジネス交流拠点の活性化
- * 国際金融会議の開催、誘致等
- * 官民連携ファンドの推進
- * 首都大学東京における
高度金融専門人材の養成

➤ 創薬をはじめとしたライフサイエンス分野で
国際的なビジネス拠点へと成長

- * ビジネス交流拠点の形成促進
- * ベンチャーの創出・成長
- * 都立・公社病院の診療データバンクの構築など治験等の環境整備
- * 国家戦略特区制度の活用
 - ・世界最高水準の医療技術の実用化
 - ・ジェネリック医薬品審査の迅速化

成長産業分野の戦略的育成 と中小企業の参入促進

➤ ロボット産業

* 都立産業技術研究センターの
開発支援拠点機能を強化

⇨ ロボット技術の
開発・実用化・事業化を促進

➤ 医療機器産業

* ものづくり中小企業の技術と
医療現場等のニーズをマッチング

⇨ 東京発の医療機器の
開発・実用化を促進

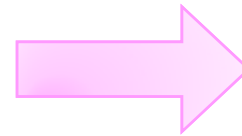
世界の富を呼び込むとともに、
新しい富を生み出す

～ 正規雇用の促進 ～

非正規雇用対策の目標

*非正規雇用216万人

うち、求職活動を行っている
不本意非正規 16万7千人
(2012年)



8万3千人へ半減
(2022年)

都自らの対策による正規雇用化

2017年度までの **3か年**で

年間5千人、合計1万5千人を正規雇用化する

〔主な政策展開〕

- *非正規雇用者への取組 ⇨ 正規雇用化に向けた支援プログラムの実施
- *企業・事業主への取組 ⇨ 正規雇用転換に係る都独自の助成金の創設

～ 国際社会で活躍できる人材の育成 ～

全ての子どもたちが使える英語力を習得

➤ 「聞く・話す」英語力の向上

高校卒業段階で
日常生活に必要な英語力を習得
(**英検準2級**程度) [2024年度]

〔主な取組〕

- * 都独自の補助教材の活用
- * 英語科教員の実践的な指導力の向上

➤ 「英語村(仮称)」の新設

- * 小・中・高校生が、一定期間外国人とともに英語しか使えない環境で様々な生活体験や学習を実施

⇨ 生きた英語を習得

国際社会の第一線で活躍するグローバルリーダーの育成

➤ グローバル人材の育成を推進する都立高校「グローバル10」を10校指定

- 〔主な取組〕
- * 外国人指導者の重点配置
 - * 海外研修、海外大学進学、海外姉妹校の交流等を積極的に展開

～ 2020年大会の開催に向けた取組 ～

- ◇ 競技会場の整備
- ◇ 危機管理体制の構築
- ◇ 観客等の円滑な移動の確保
 - * バリアフリー環境の構築
 - * 環状2号線などの交通基盤整備 等
- ◇ 来訪者へのおもてなしの準備
 - * 多言語対応
 - * Wi-Fi環境の整備
 - * ボランティアの育成

ユニバーサルデザインの駅



～ 来訪者へのおもてなしの準備 ～

多言語対応

外国人の
移動、飲食、観光、宿泊 及び 医療等における
言葉のバリアフリー化を展開

* デジタルサイネージ
* 翻訳アプリ
などの先端技術の活用

多様な主体が相互に連携・協力

Wi-Fi環境の整備

外国人旅行者の無料Wi-Fi利用環境に対する満足度
2014年実績 76.7% ⇨ **2020年目標 90%以上** に向上

アクセスポイントの拡充

利用手続きの簡素化

〔アクセスポイントの拡充〕

- * 外国人旅行者が多く訪れる10エリアや2020年大会会場周辺（重点整備エリア）での整備推進（案内サイン周辺へのアンテナ設置等）
- * 都内全域において、都立施設等への整備や区市町村などへの支援を促進

～ 2020年大会開催を起爆剤とした水素社会の実現 ～

➤ 2020年大会の機会を活用して需要を拡大

【大会開催時】



燃料電池車	6千台 (2020年)	10万台 (2025年)
燃料電池バス	50台以上 (2020年)	
水素ステーション	35か所 (2020年)	80か所 (2025年)
家庭用燃料電池	15万台 (2020年)	100万台 (2030年)

〔主な普及施策〕

- * 燃料電池車、水素ステーション、定置型燃料電池などの導入促進
- * 水素の特性や安全な利用方法などの普及啓発



「東京都長期ビジョン」

～ 「世界一の都市・東京」の実現を目指して ～

目指すべき将来像

「世界一の都市・東京」の実現

将来像の実現に向けた2つの「基本目標」

【基本目標Ⅰ】

史上最高のオリンピック・
パラリンピックの実現

- *2020年の東京の姿、レガシーの継承
- *オリンピック・パラリンピック開催を起爆剤とした都市の発展

【基本目標Ⅱ】

課題を解決し、将来にわたる
東京の持続的発展の実現

- *少子高齢・人口減少社会への対応をはじめ、山積する課題を解決